



ー MIRSドキュメント解説 ー

ドキュメント文書体系と管理方法について

●基本事項

- 設計のアウトプット(成果物)はドキュメントである
- ドキュメントは情報共有, 意思疎通のツールであり, 生産性の向上, 工程管理に役立てる
- 記載内容は十分に整理すること(過不足なく, 散乱しないこと)
3Cに留意して記述する(正確に Correct、明確に Clear、簡潔に Concise)
- 作成されたドキュメントに対して, ドキュメントレビュー(DR)を行う(内容を精査する)
- 作成者が記載内容に責任を持つ
- レビューアーは, DR を通してチームが次の工程に進める状況にあるかどうかを判断する

●ドキュメント番号のつけ方

MIRSxxxx-NNNN-zzzz ドキュメント体系

最初の 8 桁 (MIRSxxxx)

MIRS2501

MIRS 固定, 2025年度 01 班

番号の割り当てはDMの仕事

次の 4 桁 (NNNN)

WORK 作業記録

MEMO 議事録(チームミーティング, レビュー等)

PLAN 計画書(部品開発, システム開発等)

REPT 報告書(解体, 技術調査, 統合試験, 完了等)

DSGN システム提案, 基本設計等

TEST 各種試験仕様書

ELEC エレクトロニクス詳細設計, 製造仕様書等

SOFT ソフトウェア詳細設計, 製造仕様書等

MECH メカニクス詳細設計, 製造仕様書等

次の 4 桁 (zzzz)

ドキュメント毎の番号(通常は 0001 から順に振る)

例) MIRS2501-MEMO-0001 1 班のチーム雑資料(議事録など)

MIRS2501-REPT-0001 1 班の技術資料(調査報告書など)

ドキュメント管理台帳のドキュメント番号は MIRS2501-ADMN-0001

●ドキュメントの内容

- ドキュメント番号、名称、版数、更新日、作成者(複数名可)、承認者を明記
- 電子部品のデータシート等, 外部からダウンロードしたファイルをディレクトリに置き二次配布することは厳禁(直接外部へのリンクを張ればよい)

●版数(バージョン)管理の方法

- 3桁 xyy
- 最初の1桁(x) メジャー番号(A から順に付ける)
- 後の2桁(yy) マイナー番号(01 から順に付ける)
- 例 A01 マイナーチェンジ A02 → HTML ファイルを直接編集し, 改訂内容を記録
- メジャーチェンジ B01 → 新しいディレクトリを作成し,
その下に新しい HTML ファイルを作成

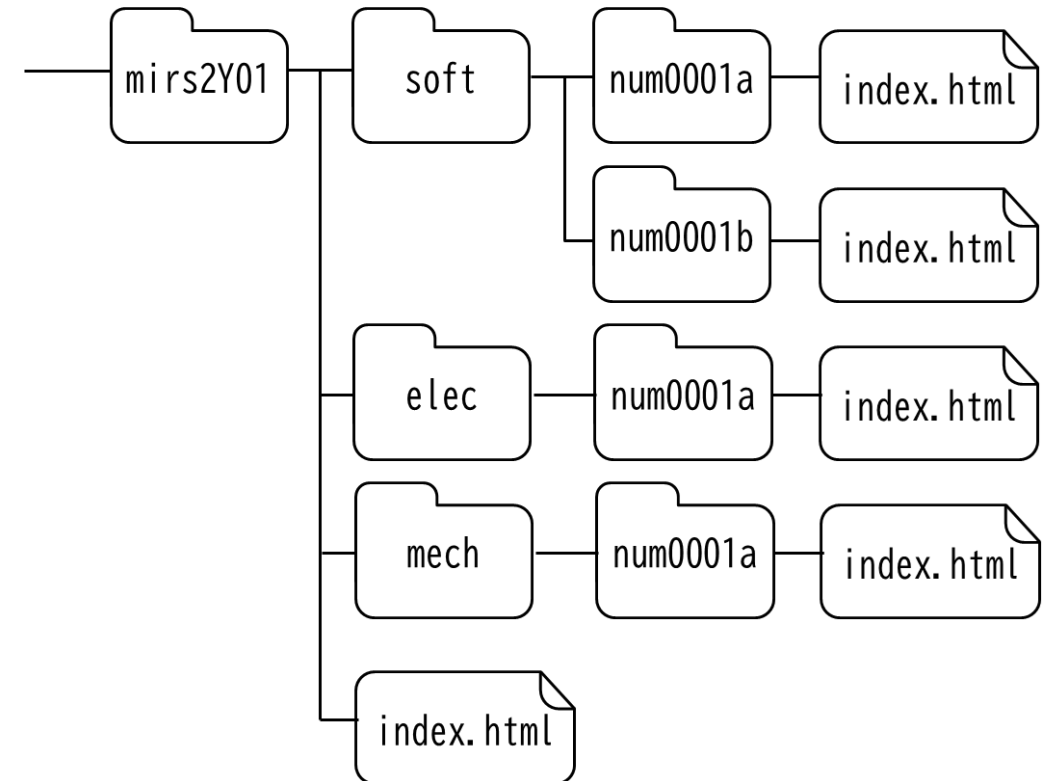
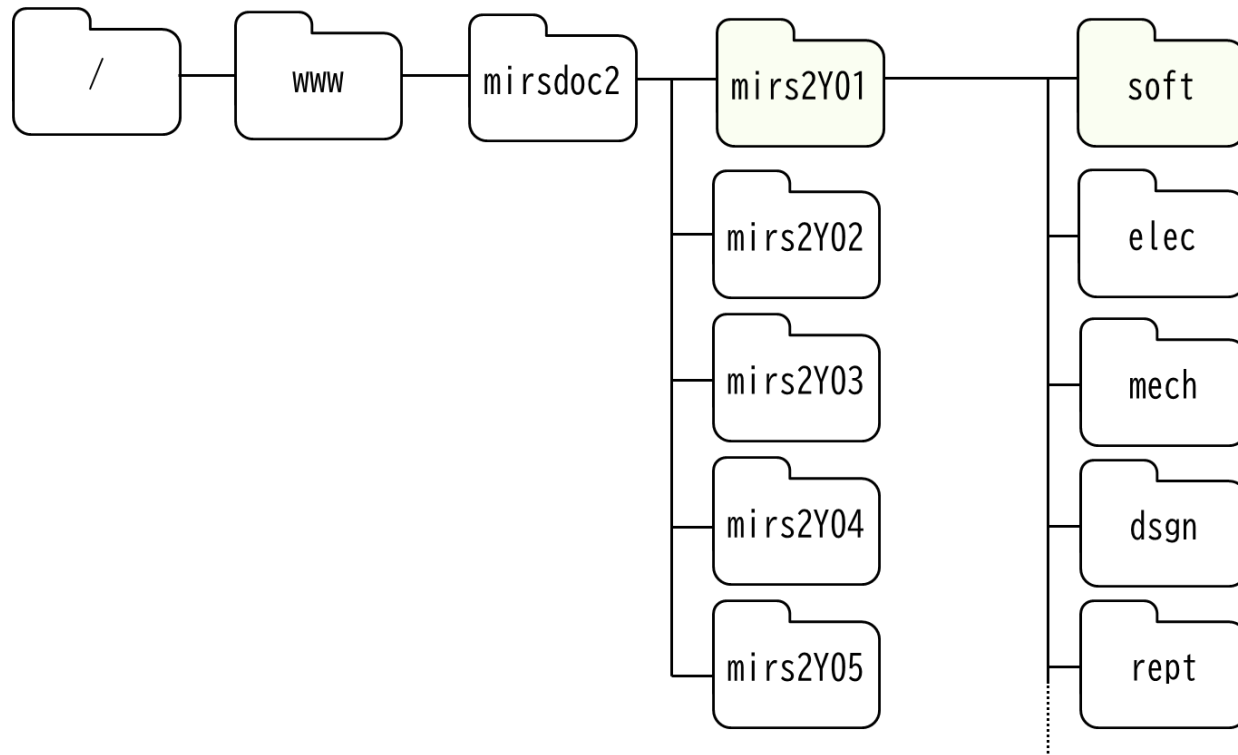
●ドキュメントの置き場所 ディレクトリルール

ドキュメント番号 MIRS2Y01-SOFT-0001 版数 A01

作成するディレクトリ

/www/mirsdoc2/mirs2Y01/soft/num0001a/ （実際は各班のホームディレクトリ）

/www/mirsdoc2/ は固定で、以下に チーム, パート, ドキュメント番号と版数に合わせたディレクトリを作成する ただし 全て小文字とする



●ドキュメントの置き場所 ディレクトリルール

原則:

HTMLファイルは 各ディレクトリに1つだけ置く
ファイル等は同一ディレクトリに置き**相対パス** で参照する)

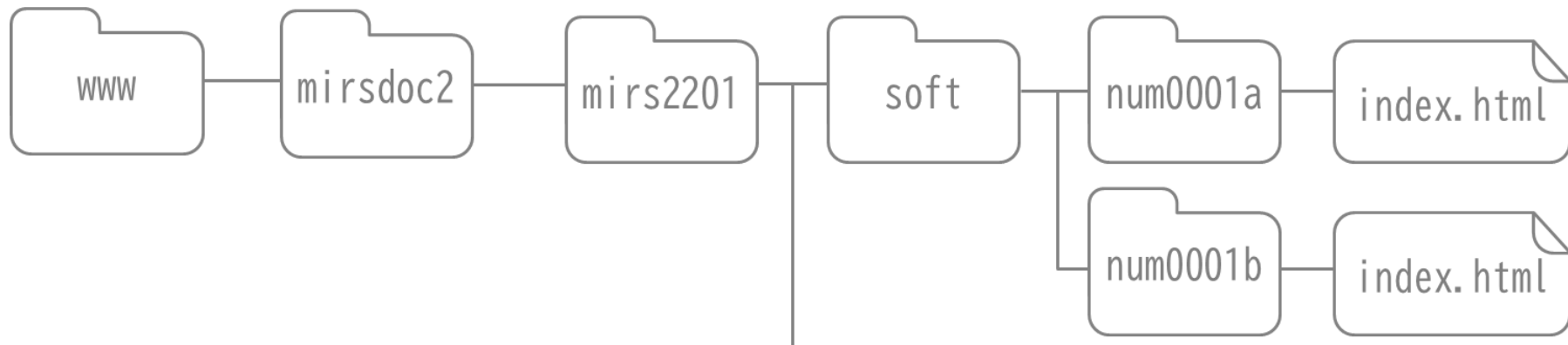
例

ドキュメント番号 MIRS2001-SOFT-0001 版数 A02

/www/mirsdoc2/mirs2001/soft/num0001a/ の中の index.htmlを編集し上書き保存

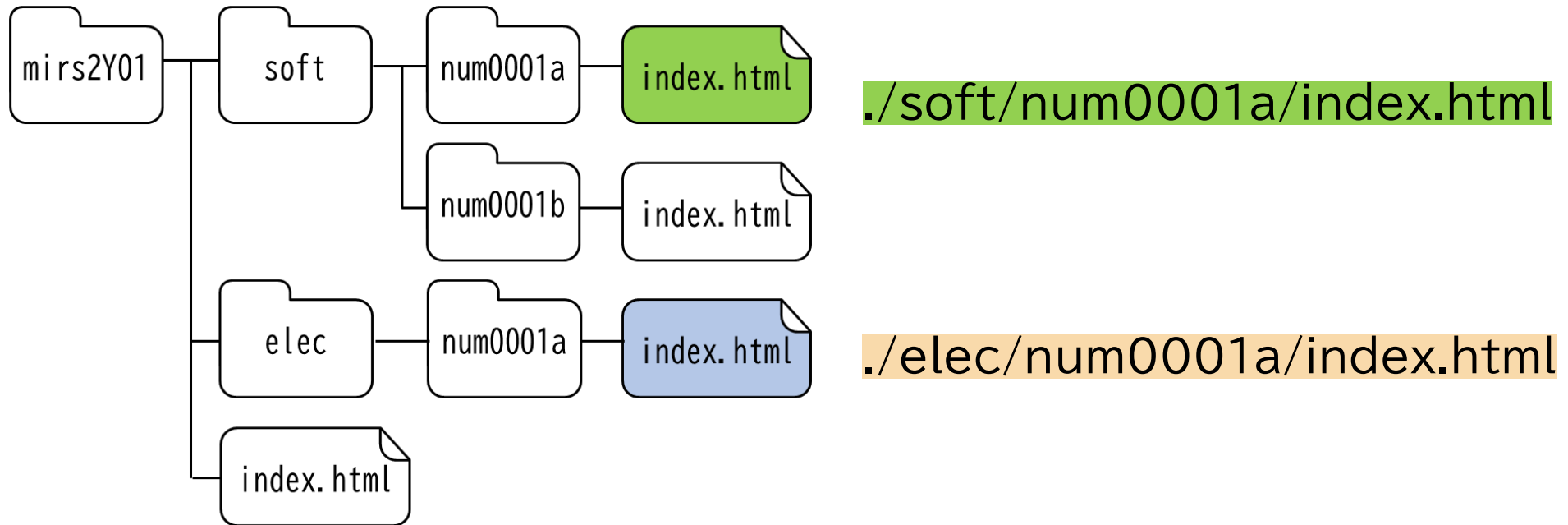
ドキュメント番号 MIRS2001-SOFT-0001 版数 B01

/www/mirsdoc2/mirs2001/soft/num0001b/ を新たに作成し, 新版の index.htmlを置く



●ドキュメントの置き場所 ディレクトリルール

HTMLファイルは 各ディレクトリに1つだけ置く
ファイル等は同一ディレクトリに置き相対パス で参照する)



~mirs2Y01/index.htmlからソフトとエレキのドキュメントにリンクを張る場合

[./soft/num0001a/index.html](#)

[./elec/num0001a/index.html](#)

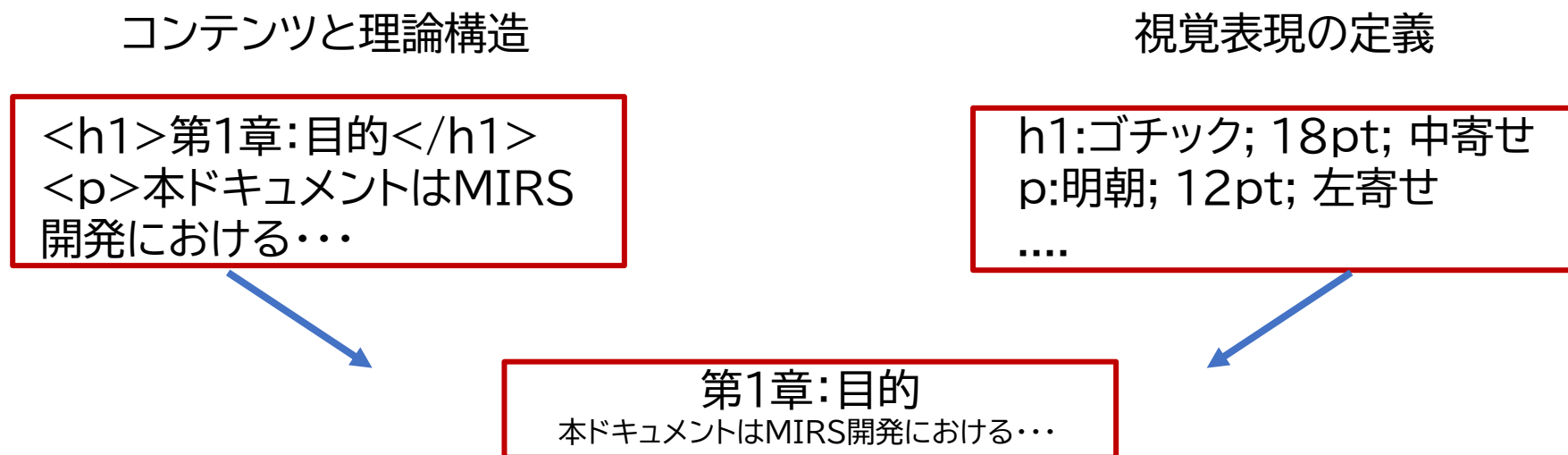
●抑えるポイント

1. HTML は文書の構成パーツを「要素」としてマークアップする
2. HTML 文書は head 要素と body 要素で構成され, head と body を合わせたものが html 要素になる. html要素にはマーク付け言語情報を書く
3. head の中に, 分かりやすい title を書く.
4. body (本文)は段落 p)と見出し h1~h6)で構成され, 必要に応じてリスト ul, ol, li)を使って情報を見やすく整理する
5. ハイパーリンクは a 要素タイプを使う
6. 強調するところは em, strong 要素で示し, 画像が欲しければ img 要素タイプを使う
7. 表は table 要素を使って表現する.「行」を tr 要素,「セル」を td 要素で表す
8. 文書には address で署名する. 本文と署名のように役割が異なるセクションは hr で区切るとわかりやすい
9. 装飾にはスタイルシートを用いるといくつかの利点がある

出展: <https://www.kanzaki.com/docs/html/htminfo17.html>

●CSSを使った際のメリット

- (複数)文書全体に一貫したコンセプトに基づくデザインを適用できる
- 複数文書のスタイルを一括管理でき, メンテナンスの効率が大幅に向上する
- 出力メディアごとに異なるスタイル を設定できる
- スタイル専用の言語を使うことで, きめ細かな表現を設定できる
- HTML が本来の役割に徹することですっきりし, 作者, 読者ともに利用しやすいものになる



●CSSを使った際のメリット

```
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=utf-8">
<title>MIRS250x-ADMN-0001 ドキュメント管理台帳</title>
<link rel="stylesheet" href="style.css" type="text/css">
<link rel="shortcut icon" href="allabout.ico">
<script>
setInterval("elm=document.getElementById('izutani');if(elm.style.visibility=='visible'){elm.style.visibility='hidden';}else{elm.style.visibility='visible';}",10000)
</script>
```



cssファイルはindex.htmlと同じディレクトリ

```
</head>
<body bgcolor="#000000" text="#ff00ff" link="#ff0000" vlink="#ffff00" alink="#0000ff">
```

```
<!--タイトルにあたる表(削除不可・適宜変更すること)-->
<table class="table010">
<tr>
<th>名称</th>
<td class="title">MIRS250xドキュメント管理台帳</td>
</tr>
<tr>
<th>番号</th>
<td class="title">MIRS250x-ADMN-0001</td>
</tr>
</table>
<br>
```

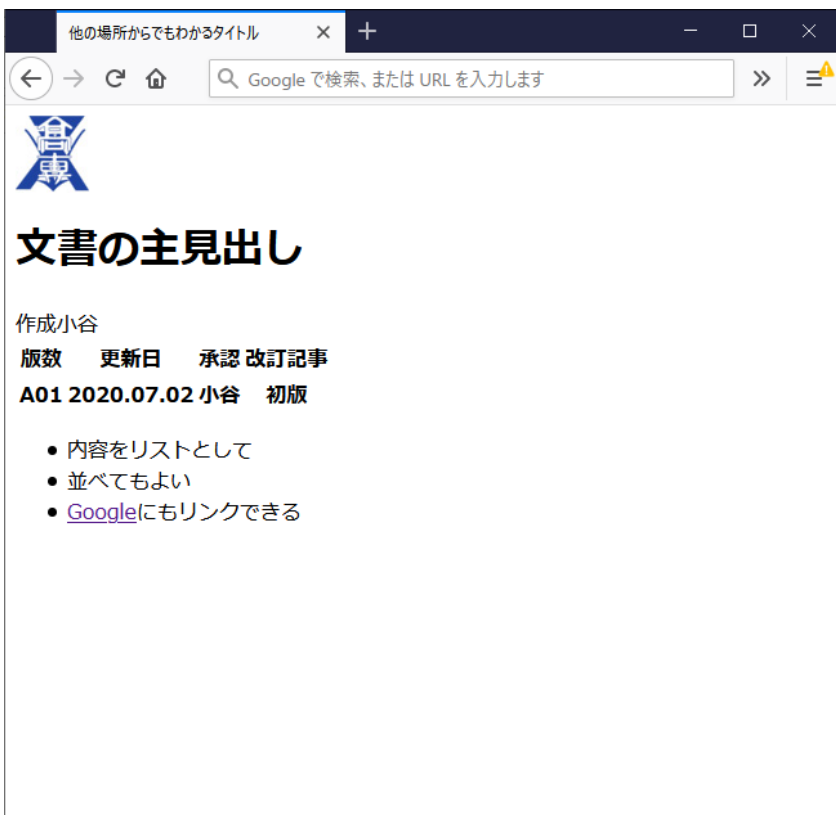
●注意事項

1. MS Wordで書いた文章をhtml保存すること → ソースコードが長くなる(可読性が極めて悪い)

```
<html>
<head>
  <title>他の場所からでもわかるタイトル</title>
</head>
```

```
<body>

<h1>文書の主見出し</h1>
<table>
  <tr>
    <th>版数</th><th>更新日</th><th>作成</th><th>承認</th><th>改訂記
    事</th>
  </tr>
  <tr>
    <th>A01</th><th>2020.07.02</th><th>小谷</th><th>小谷
    </th><th>初版</th>
  </tr>
</table>
<ul>
  <li>内容をリストとして</li>
  <li>並べてもよい</li>
  <li><a href="http://www.google.co.jp/">Google<a>にもリンクできる</li>
</ul>
<body>
</html>
```



●注意事項

2. 外部ソースの2次使用に注意

仕様書、製品画像のファイルをメーカーのホームページから取得し、学科サーバに置かない
かならず、ファイルに直接リンクを張ること

3. 画像ファイルは必要以上に大きなファイルにしない(最大でも640×480px以内に収めること)

4. 動画ファイルは学科サーバに置かずにyoutube等の外部サーバに置くこと(公開条件設定に注意)

学科サーバのMIRSアカウント

- MIRSドキュメントは学科サーバ(titan)に置かれる
- チームごとにmirsアカウントを用意している
- アカウント名
mirs2501 mirs2502 mirs2503 mirs2504
- パスワード
各チームのDMが決めて登録する(unix用とsamba用の2つ)

サーバ管理者権限で登録するので、後で小谷まで